

# 琉球大学学術リポジトリ

## 1972年の沖縄返還時の有事の際の核持ち込みに関する「密約」に係る調査関連文書No.2

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): 核持ち込みに問題, ジョンソン次官 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43897">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43897</a>

C

C

59

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

天(大) 務(務) 房(房)  
次(次) 官(官) 審(審) 長(長)  
儀(儀) 書(書) 文(文) 会(会) 營(營) 給(給)

総入電厚計

参調析

参領旅移

参北東経

参中西

参北北

参中

参一

参西東洋

参西

参近ア

次総経国万

参質統

参政技

参一理

参条協規

参政経科

参社専

参道内外

参文

参

参

参

総番号(TA) 18158  
69年4月29日20時10分 米 国 猪 着  
69年4月30日09時26分 本 省 猪 着

外務大臣殿 下田(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

オキナワ問題(ジョンソン次官との会談)

第1294号 特秘 至急

29日トウゴウ局長はジョンソン次官のちゆう食に招待され、その際大要次の通りの会談を行った趣(米側グリーン・ブラウン、スナイダー、シニペード少将、当方よりヨシノはい席)

局長よりわが方の提出したポジション・ペーパーを読んだかと質問した(ジョンソンこう定)後、右はまだドラフトの形でオスボーン代大使に手交したが、アイチ大臣が来訪し正式の話し合いを行う際もその内容は変わりなく、これが日本側の立場であると了解してほしい旨述べて種々説明したところ、ジョンソンの主なるコメント次のとおり。

イ) 日本側の立場が、米側の立場を十分考慮していないことに失望した。日本側にも困難があることは承知しているが、米国も同様である。まず第一に指摘したいことは、もし米議会において、オキナワ返かんにあたり米側は日本政府にその基地の使用につき拒否権を与えたのかと質問された場合、米政府はこれに対し何と答えたらよいか考えてみ

外務省

極秘

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

てほしい(シニペードよりBRYD上院議員よりもし日本側が基地の自由使用を許さぬならばオキナワも返かんしてはいけなと既に念をおしている旨発言)。

(ロ) 核兵器の問題についてこれのオキナワにおける配置ないし持ちこみにつき日本側は協議を要するとするかと質した後、これについては去る/月ジョンソンが東京を去る際アイチ大臣と会談した際アイチ大臣は単なる私見としてはあるが、当分の間この問題についてはオキナワの現状(PRESENT ARRANGEMENTS)を継続するというような方式が考えられないかと示されたが、これは非常に建設的な考え方であると思つたが返かん時に核があるか否か分からないということではまともでないかと述べたので、局長より総理及び大臣におかれてしん重に考えられた末オキナワ返かんに関し安保条約及び国連取きめを修正するような取決めを行うことは困難であるとの理由である旨を説明した。

(ハ) いずれにせよ大臣訪米の際オキナワ問題だけを取り上げて日本側はこれが国民の要請するところだからというPRESENTATIONをすることは米議会等もそれでは米側の要求はどうかということになり、得策でなく、極東の平和維持の一かんとして日本はこれだけのことをする用意があり、その構想の一としてオキナワ返かんが必要で

外務省

極秘

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

あるという形の PRESENTATION をすべきだと思  
う。なお日本が東南アジアに対し如何なる援助をしよう  
としているのか、例えば韓国軍強化のため何台の軍用トラッ  
クを送る用意があるとか、インドネシア援助について、2  
0百万ドルをきよ出したというふうなことも日本のびとく  
である。けんそんすることなく、國務長官なり大統領にど  
うぞうと説明した方が良く、と思ふ旨述べた。

英に転密した。

(了)